

図書館だより

2015年1月15日発行



せきね ももか さんの 作品 (平成26年度市長賞受賞・千代田小学校5年)

私は本の中から、物語の登場人物などがとびだしてくる絵を書きました。本からとびだしてくる様子が上手くかけたと思います。特に、きょうりゅうのはくりよくを出すのがむずかしかったです。

第177号

坂戸市立図書館



日本探訪

四国・九州
沖縄あれこれ

四回シリーズの最終号は四国 九州 沖縄の見どころ・味・有名人の作品などを紹介します。

北海道から沖縄までいろいろな分野で紹介してきましたが、毎回新しい発見をし日本の味や出身者の活躍を知ることができました。



愛媛県

能島・来島・因島などしまなみ海道で本州と結ばれている途中の亀老山展望台からは来島海峡大橋や日本三大急流のひとつ「来島海峡」の潮流がみられる。また潮流を体験できる観光船に乗船したり、日本では珍しい村上水軍の歴史を知ることができる水軍博物館に足を運んでみるのもよい。



来島海峡

村上水軍全紀行 森本繁/著 新人物往来社
瀬戸内の覇者・村上水軍は、因島・能島・来島と本拠地を構え、島々に砦を築き、館をつくり、城を構えた。村上水軍の足跡が残るつわものたちの夢の跡をすべて訪ね、隆盛を誇った村上水軍の歴史を掘りおこす。



福岡県

柳川市は水郷の町として知られている。白秋の命日 11月2日を中心に「柳川白秋水上パレード」が開催されている。その他にも白秋を偲ぶたくさんの著書や遺品などが展示されている「白秋生家資料館」や生誕百年を記念して建てられた「白秋記念館」もある。詩集や直筆の原稿などが展示されている。



水上パレード

トンカ・ジョンの旅立ち (北原白秋の少年時代) 森崎和江/著 日本放送出版協会
トンカ・ジョンとは大きな坊ちゃんをという意味で良家の長男の意味である。沖ノ端村の酒屋にトンカ・ジョンが生まれたのは明治18年の冬。いくつもの酒蔵を持つ北原家。伸び伸び育った隆吉(白秋)はその後詩人として成長していく。



熊本県

天草は大小の島々が天草五橋で結ばれており天草島原の乱の名残りである旧跡などが点在している。

☆天草キリシタン館

乱で使われた武器や国指定重要文化財の天草四郎陳中旗や弾圧期の踏み絵など約200点が展示されている。

☆殉教戦千人塚

乱で殉教した兵士たちを里人が数ヶ所に祀り、その後塚と地蔵を建てた。後年それらを合祀し千人塚とした。



殉教戦千人塚

碧眼の叛逆児 天草四郎 松原誠/著

日本放送出版協会

3万人もの民百姓が幕府勢を相手に3ヶ月も戦い抜き、挙句の果ては、虐殺、皆殺しとなった島原の乱。虐げられた民の反乱とは何だったのか。新しい発想を取り入れ、従来の「天草四郎もの」とは趣を異にした歴史小説。



郷土が生んだ有名人



☆高知県出身 有川 浩 (作家)

☆鹿児島県出身 綾小路 きみまる (漫談家)

明日の子供たち
幻冬舎

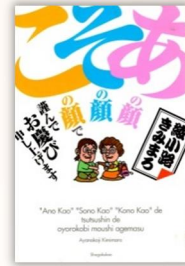
諦める前に、踏み出せ。思い込みの壁を打ち砕け！元営業マンの三田村慎平は児童養護施設に転職した。いろいろな個性をもつ子供たちに向き合い繰り広げられるドラマティック長篇。



著者は幼少時より物語を書き始め、就職、結婚後、2003年「塩の街」で電撃ゲーム小説大賞を受賞。また『図書館戦争』シリーズはベストセラーとなる。

あの顔その顔この顔で
謹んでお慶び申し上げます。 小学館

中高年のアイドル・綾小路きみまるの、爆笑かつ感動「毒舌トーク」集です。先行きが見通せないのは世の中だけでない、これからの人生を如何に、夫婦共に微笑みを絶やさず、思いやっ



て生きていくか伝授します。著者は50歳を超えてようやくブレイクし「遅咲き」と自負している。また『日本司会芸能協会』の理事も務めている。

☆宮崎県出身 米良 美一 (歌手 / カウンター・テナー)

☆佐賀県出身 北方 謙三 (作家)

天使の声 生きながら生まれ変わる
大和書房

「もののけ姫」の主題歌で一世を風靡。世界的カウンター・テナーの知られざる壮絶な人生の軌跡を綴る一冊。

著者は先天性骨形成不全症という難病と闘いながらも幼少時より歌の世界で才能を光らせる。そして音楽で生きることを決意したという。



岳飛伝 <1~11章> 集英社

岳飛を主人公に前作の『楊令伝』、そして前々作の『水滸伝』から登場した人々のその後を描く。楊令との決闘に生き残った岳飛が岳家軍を再編し、再び金との戦いに臨む大水滸伝シリーズ本。著者は『明るい街へ』で学生作家デビューをし、次々とヒット作を生み出す。1996年大長編、北方版『三国志』の刊行が開始され、以降、北方文学は超大作が多い。



☆福岡県出身 葉室 麟 (作家)

☆長崎県出身 さだ まさし (シンガーソングライター・作家)

潮 鳴り
祥伝社

豊後・羽根藩の伊吹權蔵は、役目をしくじりお役御免、今や“檻樓蔵” (ぼろぞう) と呼ばれる無頼暮らし。ある日、家督を譲った弟が切腹し…。羽根藩シリーズ第2弾。



著者は大学卒業後、地方紙記者等を経て、遅咲きの作家として「乾山晩秋」で歴史文学賞を受賞、「蝸ノ記」で直木賞を受賞し昨年秋、映画化された。

おばあちゃんのおにぎり
くもん出版

ぼくが7歳になる、たんじょう日のできごと。おばあちゃんに「一番好きなものをあげる」と言われ楽しみにしていたぼくは、それが「おにぎり」だったと知って……。著者の少年期の実話をもとにした児童文学。



著者はフォークデュオ・グレープとしてデビュー。数々の大ヒット曲を生み、「精霊流し」で小説家としての活動を開始する。

郷土の味☆徳島県☆鹿児島県☆沖縄県



昔から土地の人に愛され受け継がれた味

からいももちの作り方 (鹿児島県)

日本人の暮らし大発見！食のひみつ

新谷尚紀監修/学習研究社

保存食品、発酵食品乾燥食品などをはじめ、幅広く食品について書かれている。

中でも地元の食材を使った沖縄の料理は、20品目が写真入りで薬膳食としてもふさわしいと紹介されている。

(沖縄の味)



材料	(4人分)
さつまいも	500g
もち	350g
きな粉	60g
さとう	40g
塩	少々
あんこ	適量

作り方

- ① さつまいもの皮をむき、適当な大きさに切り、水にさらし蒸す。
- ② もちをつきあげた中に①の蒸し芋を入れさらにつく。(もち米の量より多く入れる)丸く形作る。
- ③ 丸くしたもちに、きな粉やあんこをまぶして食べる。
※お茶受けなどにして楽しむ。



日本各地
食べもの地図

西日本編/帝国書院

温暖な平野が広がる徳島県。

みかんの仲間のスタチとユズは、全国有数の産地である。

鳴門海峡は有名ですが、鳴門わかめはその潮の流れが早いため、一年を通してよく採れる名産品です。(徳島県の味)



日本の名品郷土料理

九州・沖縄編

福島普徳編集/学習研究社

鹿児島県は、南の国の太陽をたっぷり受けて育つ野菜の多さをはじめ、豚肉料理も盛んであり、黒潮に乗った海の幸も豊富である。

掲載されている写真を見るだけでも、心が豊かになる一冊です。(鹿児島県の味)



たべよう！つくろう！47都道府県 郷土料理のおいしいレシピ

清田久美子構成・編集/教育画劇

なつかしい家庭の味をささえる郷土料理、誇るべき地域の文化を担う料理。地域ならではの素材を生かし、ふるさとの宝ともいえる料理を紹介。徳島県からは、写真、レシピ入りで「そば米ぞうすい」の郷土料理。そばと米を混ぜたものではなく「そば米」という食材が使用され、稲作に適さない山あいの地域で食べられています。



(徳島県の味)

うちで楽しむ沖縄の元気料理

オレンジページ

沖縄の長寿おかずや菓子、飲料などを紹介している1冊。

ゴーヤチャンプルをはじめ、豚肉の角煮など一般的に知られたものから、沖縄ではお祝の席にも出されるサーターアンダギーと呼ばれるお菓子など写真入りで、作り方などひと目でわかる本です。食品でも呼び名に独特な名前があったり、初めて見る食材であったり、沖縄の全てを楽しめる一冊です。

(沖縄県の味)



方言 ☆香川県☆大分県 温もりを感じる地方言葉

香川編

あじわる

気持ち悪い うじがわっきよる。あーあじわる(蛆虫がわいている。ああ気持ち悪い)「あんじやる」とも。

あずない

幼稚な 図体が大きゅうなっても、あずないなあ(成長しても、子どものように幼稚で世間知らずだ)

あまばい

まぶしい お日さんがきつうて、あまぼうていかな(太陽の光がきつくて、まぶしい)

いぐい

したたか いぐいけん、きいーつけよ(したたかなー筋縄でいかん人やから気をつけよ)

いた

下さい あいやこにさしていた(共同使用にさせて下さい)西讃(旧丸亀藩)では「つか」。

うったて

手始め 習字等の起筆をいう。うったてが、大事や(なにごととも、見通しが大切だ)

うれしげな

生意気な げんしゃやきんゆーてうれしげんすな(金持ちだからといって生意気な態度をとるな)

おことい

忙しい おこといのに、よーきてくれました(お忙しいのに、よくいらしてくれました)

かさのにせる

傘に入れる すまんけど、傘にのせて(すみません傘に入れて)

くろみ

梅雨 くろみに入ったぜ(梅雨に入ったよ)



大分編

いちみちきちくりー

行って見てきてくれ すまんけど、ちょいといちみちきちくりー(すまないが、ちょっと行って見てきてくれ)

うたちー

汚くていやだ あんやたー、うたちーやっちゃのー(あいつはいやな性格の奴だなあ)

えごんいーし

いつも笑顔で愛想のいい人 あん人はいつもえごんいーしじゃなあ(あの人はいつもにこにこ笑みをたたえた人だなあ)

くされ

意地悪 そげーくされを言うもんじゃねーで(そんなに意地悪を言うもんじゃないよ)

ざーねー

非常に 多量に。ことしゃー、ざーねー雨がふる(今年は、雨が大量に降る)

どべ

〈競争で〉ビリ 最後尾。運動会でこけて、どべじゃった(運動会で転んで、ビリだった)

へのつっぱりにもならん

まったくものの役に立たない おまえの言うこと一屁のつっぱりにもならん(おまえの言うことはまったく何にも役に立たないよ)

ほげ

でたらめ まーたそげなほげを、言うち(またそんなでたらめを言ってい)「法外」の転。「ほげほっぽう」は強調形。

講座方言学(図書刊行会)より引用



図書館もよう

※ 佐賀県武雄市図書館

もともとあった図書館を新装し、TSUTAYA(レンタルビデオ大手)に運営を任せる方式で2013年にオープンし、市外からも多くの方が訪れています。本を自動貸付機で借りると、1日一回カードに3ポイントたまり、買い物などに利用できるのが特徴です。飲み物を持ち込み読書もできます。



小室 結依さんの作品

(平成26年度 教育長賞受賞 坂戸中学校1年)



第1回坂戸市図書館を使った 調べる学習コンクール 結果報告

図書館を使った調べる学習の全国コンクールがあります。
坂戸でも、子どもたちのなぜ、どうして、不思議だなと思ったことをテーマに、調べてまとめた学習コンクールの第1回目を今年度開催いたしました。

[募集期間] 平成26年9月2日(火)～9月30日(火)
[対象] 坂戸市立小学校の4・5・6年生(グループ可、学校経由で受付)
[応募者] 23作品(参加者30名)

《受賞者》

最優秀賞	「坂戸市文化かるたを訪ねて」	勝呂小学校	5年	小島聖司さん
優秀賞	「知りたい!この曲を作った人のことー時代を代表する作曲家たちー」	坂戸小学校	6年	石田みのりさん
入賞	「バレエは私の宝物」	片柳小学校	4年	横道睦姫さん
	「チョウとガのちがいについて」	南小学校	4年	森晴香さん
	「大好き 坂戸よさこい」	坂戸小学校	5年	塚原なつさん、高橋叶恵さん、宮根夢奈さん
	「みんなの知らない坂戸」	南小学校	6年	岡明天乃さん
ユニーク賞	「虹を見よう」	北坂戸小学校	5年	田崎宗さん
	「クワガタムシと森の虫たち」	北坂戸小学校	5年	安江花菜子さん
	「意外と知らない言葉の歴史と正しい使い方」	入西小学校	6年	服部茉夏さん

副賞は、最優秀賞から参加賞まで図書券(2000,1500,1000,500円分)と、入賞以上の方には賞状を贈呈。また、応募者全員にクリアファイル(図書館振興財団より)とよさこい缶バッジ(図書館より)を差し上げました。

※最優秀賞、優秀賞の2名の方の作品は、全国コンクールへ推薦いたしました。
図書館ではこれからも、調べることの楽しさを、こどもたちに発信していきます。
(第2回坂戸市図書館を使った調べる学習コンクール開催!募集要項は平成27年6月発表予定)